

〔別紙2〕「選定根拠の種が長期にわたり確認されていないとの情報があった湿地」と「消滅したとの情報があった湿地」

表1. 選定根拠の種が長期にわたり確認されていないとの情報があった湿地

No.	選定生物群	重要湿地番号	湿地名	生息・生育域	選定理由(※)	変化の状況
1	(05)水草	298	多鯰ヶ池	多鯰ヶ池	希少な水草が確認されている。	現在、選定根拠となった希少な水草は確認されていない
2	(06)淡水藻類	149	八瀬川	八瀬川	絶滅危惧Ⅱ類のアツカワオオイシソウ(紅藻)が多数生育。	アツカワオオイシソウ絶滅
3	(06)淡水藻類	152	見沼代用水	見沼代用水	絶滅危惧Ⅱ類のアツカワオオイシソウ(紅藻)が多数生育。	1995年時点では、アツカワオオイシソウは多数確認されていたが、現在は、確認されなくなった
4	(06)淡水藻類	155	小野川	小野川	絶滅危惧Ⅱ類および日本固有種のオオイシソウ、アツカワオオイシソウ(紅藻)が多数生育。	2008年度の調査では、オオイシソウ、アツカワオオイシソウは絶滅したとされる
5	(06)淡水藻類	381	神代川	神代川	絶滅危惧Ⅰ類のオキチモズク(紅藻)が生育。	神代川本流には生育していない
6	(06)淡水藻類	385	江津湖・上江津湖水系	上江津湖	絶滅危惧Ⅰ類のスイズンジノリ(藍藻)の唯一の生育地。	1990年代終わりころには生育が確認されなくなった
7	(06)淡水藻類	455	アミスガー・ハマサ	ハマサ	絶滅危惧Ⅰ類のシマチスジノリ(紅藻)が生育。	シマチスジノリは、絶滅。水の濁りと光環境の悪化(周囲の樹木の繁茂)のため、少なくともチスジノリの配偶体(大型の藻体)は見られない
8	(10)淡水魚類	88	蕪栗沼	蕪栗沼	ゼニタナゴ、タナゴの生息地。	ゼニタナゴ、タナゴともに沼では確認されていない。同じ秋産卵のカネヒラの生息数は非常に多く、産卵期における産卵場所や二枚貝利用の競合も考えられる
9	(13)昆虫類	263	大フケ湿原およびその周辺湿地	大フケ湿原およびその周辺湿地	ブナ林に囲まれミズゴケで覆われた高層湿原で、ハッチョウトンボ、オオコオイムシ、ミズメイガの1種など貴重な昆虫が生息する。また、周辺の樹林には(この地方では少ない)エゾゼミが広範囲に生息する。	現在、ハッチョウトンボは見られなくなっている
10	(15)淡水貝類	188	鳥屋野潟	鳥屋野潟	ヒダリマキモノアラガイ、カワネジガイなどの生息地。	現在は、水質汚濁がひどく、希少貝類は生息していないようである
11	(15)淡水貝類	58	大沼	大沼	エゾドブシジミ、ヨコハマシジラガイ。種の多様性が高い(北方系と本州系貝類要素が混在する)。	現在は、エゾドブシジミも、ヨコハマシジラガイも生息していないようである
12	(16)底生動物	4	猿払原野(ポロ沼、カムイト沼、猿骨沼、浅茅野湿原、モケウニ沼、猿払川など)	猿払原野湖沼群(ポロ沼、モケウニ沼など)	ヤマトシジミ、ヒメシラトリガイなど汽水性ベントスの生息地。	昭和59年の猿払川河川工事以後、沼の塩分濃度が増加して高鹹性汽水～海水の塩分になって現在に至っている。その結果、ヤマトシジミはほぼ消滅した

※出典: <http://www.sizenken.biodic.go.jp/wetland/>

表2. 消滅したとの情報があつた湿地(特に、湿地の規模・面積の変化が顕著なもの)

No.	選定生物群	重要湿地番号	湿地名	生息・生育域	選定理由(※)	増減の程度
1	(02)マングローブ林	425	鹿児島湾(桜島漁港・浜町・鴨池港・生見のアマモ場群落, 重富海岸, 天降川河口, 喜入町メヒルギ林湿地, 岩崎川, 鈴川, 米倉川など)	鈴川	メヒルギの生育地. マングローブ樹種の希少分布地. マングローブ林の地理的希少分布地.	消失した
2	(03)藻場	80	陸中リアス海岸の湾奥沿岸湿地群(宮古湾, 山田湾, 船越湾, 大槌湾, 釜石湾など)	山田湾	生物多様性の高い藻場(わずかだがアマモ, スガモ, 中央部にスゲアマモの高密度な純群落).	・ほぼ100%消失した ・震災前には無かった新たな場所にアマモの発生がすこし見られる
3	(03)藻場	80	陸中リアス海岸の湾奥沿岸湿地群(宮古湾, 山田湾, 船越湾, 大槌湾, 釜石湾など)	大槌湾	アマモ, スゲアマモ, タチアマモ, スガモの生育地.	ほぼ100%消失した
4	(13)昆虫類	492	大正池付近	大正池付近(大富林道)	ホソアカトンボ, オオハラビロトンボ, キイロハラビロトンボ, コフキオオメトンボ(1996年以降定着か?), オオメトンボ, アメイロトンボ, ミナミトンボ, リュウキュウカトリヤンマ.	遷移の進行と, 池の岸際の陥没により, 雨季を除いて水域はほとんどなくなってきている. 大正池はすでに池ではなくなっている

※出典: <http://www.sizenken.biodic.go.jp/wetland/>